

「 根拠を明確にして魅力を伝えよう 」

～ 絵手紙 プレばと ～

本単元で育成する資質・能力

(教科) 根拠を明確にして書く力
(学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日 時 平成29年11月17日 11:50～12:40
- 2 学 年 第1学年3組 (男子18名 女子19名 合計37名)
- 3 場 所 1年3組教室
- 4 単元について

○ 本単元は、中学校学習指導要領（平成20年）の第1学年「B 書くこと」の指導事項「ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと」、言語事項「関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと」を受けて、根拠を挙げて作品の魅力を伝える表現力を育てることをねらいとして設定する。

本単元では、絵手紙を題材に、意見を交流して査定（評価）するグループ活動を行う。的確に評価するためには、対象物の具体的な特徴を挙げ、それを自分がどのように捉え、どう感じたかを相手に伝えることが必要である。単なる印象や感想を述べるだけでは、相手にその評価を公正だと感じてもらうことはできない。誰もが納得できる明確な根拠を挙げる力を身につけることが必要である。本単元を通して、相手に理解してもらい、また、納得してもらうために根拠を明確にして自分の考えを伝える力を身につけることができると考える。

○ 本学級の生徒は、意欲的に「書く・話す」活動に取り組んでいる。ノートやワークシートに大半の生徒が決められた字数で自分の考えを書くことができる。

一方、アンケートでは「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。」という問いに、肯定的回答が69%と他の項目に対して低い結果が出ている。授業の中でも、「筆者の考えを支えている根拠は何か。」と発問したときに、思うような正答が返って来なかったことから、これまでに「根拠」や「意見を支える事実」に着目させて読ませる指導が十分でなかったことを課題だと感じている。

○ 指導に当たっては、TV番組『プレバト!!』を紹介し、作品を「才能あり・凡人・才能なし」に査定しようと投げかけることで、強い問題意識と達成欲求を抱かせたい。また、絵手紙名人の査定に「なるほど」と納得してしまうのはなぜかを考えさせ、「根拠」の重要性を意識したうえで、学習課題に取り組ませたい。

個人やグループの活動に入る前に、査定の3つの観点を示し、観点を明確にした上で、個人から小グループ、学級へと学び合い活動が有効に働くように指導したい。根拠をもとにグループや学級で意見を交流できるよう指導したい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科、領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し、学習班で考えを何度も練り直させ、思考したことをホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3
知識・スキル	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）			
	表現力・コミュニケーション能力	（話す） 自分の考えや意見を，自分のことばで，表現することができる。	わかりやすく（伝える） 自分の考えや意見を，わかりやすくまとめ，自分のことばで，表現することができる。	（説得する） 自分の考えや意見を，わかりやすくまとめ，目的や場に応じて，適切な方法で，表現することができる。
		（聞く） 相づちを打ちながら，途中で口をはさまず，聞いている。	（聴く） 話の組み立て構造を考えながら，相手の意図や要点を整理しながら，聴くことができる。	（訊く） 相手の考えについて根拠の信頼性を判断しながら，訊くことができる。話された内容と自分の意見をふまえて疑問点を明確にし，相手にたずねることができる。
		聞いて質問することができる。 （やりとり1回）	さらに深めた質問ができる。 （やりとり2回）	質問の後に自分の意見を述べ，内容を深めることができる。 （やりとり3回以上）
意欲・態度	主体性	課題に対して，自分の考えを持ち，取り組もうとしている。	課題に対して，自分の考えを持ち，自ら進んで，取り組もうとしている。	自ら課題を見つけ，自分の考えを持ち，よりよい方法を選択し，自ら進んで，取り組もうとしている。

6 目標

○作品を鑑賞し，その魅力が伝わるように根拠を明確にして文章にまとめる。

○書いた文章を互いに読み合い，作品の捉え方や表現のしかたについて考えを深める。

7 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く
①意欲的に作品を鑑賞し，評価しようとしている。	①観点に沿って作品の具体的な特徴を捉えている。 ②読み手にわかりやすいように，根拠を明確にして書いている。

8 指導計画（全4時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点			評 価	
			関意	書く			資質・能力（評価方法）
プロローグ（単元を貫く問い） 作品を鑑賞し，その魅力を伝えるためにはどうすればよいだろう。							
整理	1	感じたことを整理する （1時間）	◎				観点に沿って作品の具体的な特徴を捉えている。 【主体性】（ワークシート）

情報収集・判断	1	絵手紙を鑑賞し、根拠を明確にして評価する。(1時間) 【本時2/4】	◎	読み手にわかりやすく、根拠を明確にして表現している。	【表現力・コミュニケーション能力】(ワークシート・発表)
表現	2	美術作品の鑑賞文を書く。(2時間)	◎	構成を考えて、鑑賞文を書いている。互いの表現について、作品の捉え方や表現のしかたに着目して意見を述べている。	【表現力・コミュニケーション能力】(作品・観察)
エピソード(単元を貫く問いの解決) 観点を決めて鑑賞し、明確な根拠を挙げて伝えよう。					

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○明確な根拠を挙げて作品を評価できる。

根拠の例：題材が大きく描かれていて迫力がある。／文字がカラフルで、題材の美しさや楽しそうな感じがよく伝わる。／大小のゲタが描かれ、幸せそうな家族のようすが感じられる。／「とげも愛」という言葉で、とげ(厳しさ)にも愛情がこめられているという深い思いが感じられる。／言葉が短く、体言止めが使われていて印象に残る。／色彩がきれいで細かいところまで一つ一つ丁寧に描かれて味わいがある。／言葉では「枝豆食べ放題！」と言っているのに絵は二さやしか描かれてないので言葉と絵があっていない。／題材が小さくて心が伝わらない感じがする。／言葉が長くてむだな言葉がある。など

(2) 本時の評価規準

・聞き手が納得できるように、根拠を明確にして表現している。

(3) 準備物

・絵手紙4作品・VTR「TV番組 プレバト」・ホワイトボード

(4) 学習の流れ(2時間目/全4時間)

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力(評価方法)
1 既習事項の確認。[3分]		
・絵手紙を書いた経験を出させる。	◇既習事項を確認させる。 ・目の前の題材を筆と絵の具で描き、メッセージを添える。 ・「絵」と「言葉選び」を同時に。 ・送る相手に、思いを込めて描く。	
2 本時の課題を設定する。[7分]		
・TV『プレバト』の一コマを視聴する。(3分)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 学習課題 「絵手紙プレバト ～ 才能あり? 凡人? 才能なし?～」 </div>		

<p>・「蚊取線香」を題材で描かれた絵手紙を査定させる。</p> <p>・VTRの続きを見る。 (30秒)</p>	<p>◆次のことをおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰から誰への絵手紙か。 ・題材は。メッセージは。 ・作者はどんな思いを込めて描いたか。 <p>◇直感的に判断させる。 (才能あり?凡人? 才能なし?)</p> <p>◇「蚊取線香」の絵手紙は「才能あり の(2位)」だった。これを基準とする。</p>	
---	--	--

3 ねらいを確認する。[5分]

ねらい 明確な根拠をあげて査定(評価)できる。

<p>・VTRに出てきた絵手紙名人がどのように査定していたかを思い出させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なるほどと納得できる査定だった。 ・なぜ納得したのか。 ・査定の観点 <ul style="list-style-type: none"> ①絵の味わい 色彩, 大きさ, 濃淡, 明暗, 丁寧さ 構図, 雰囲気 ②絵と字のバランス 絵とメッセージがあっているか。 配置, 字体と絵の組み合わせ ③メッセージの工夫 表現に工夫があるか。短く的確な言葉。 送る相手への思いが表現できているか。表現技法。 <p>◇観点が示されていて、根拠が明確だった。</p>	
--	--	--

4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[15分]

<p>絵手紙</p> <div data-bbox="300 1653 513 1800" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みんなで花火 見に行こう 下駄</p> </div> <p>・あとの3つの作品を「才能あり(1位)」、「凡人」、「才能なし」に査定する (個人)</p>	<div data-bbox="545 1653 737 1800" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>の 永 ん 一 び く り 蚊 と 取 線 香</p> </div> <div data-bbox="753 1653 960 1800" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>トゲも愛 パイナップル</p> </div> <div data-bbox="976 1653 1184 1800" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>食へ 放題!! 枝豆</p> </div> <p>才能アリ2位</p> <p>◇ワークシートに査定とその根拠を書かせる。</p>	<p>・作品の具体的な特徴を捉えている。 (ワークシート)</p>
---	---	---------------------------------------

<ul style="list-style-type: none"> 個人で考えた査定とその根拠をもとに4人グループで検討する。 	<p>◆3つの観点をもとに特徴を捉え、誰もが納得できる良い(悪い)点を挙げていくとよい。これが根拠となる。</p> <p>◇その査定結果に聞き手が納得できるように根拠を明確にすることを意識させる。</p>	<p>★表現力・コミュニケーション能力(ワークシート)</p>
<p>5 課題解決について発表をする。[10分]</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 各グループの査定カードを黒板に貼らせる。 発表 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの査定カードを黒板に貼る。 評価が共通しているところ、意見が割れたところを中心に発表させる。 根拠を意識して発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を明確にして表現している。(発表)
<p>6 学習のまとめをする。[5分]</p>		
<ul style="list-style-type: none"> プレバトの査定結果を知り学習したことを確認する。 	<p>評価(査定)するためには</p> <ul style="list-style-type: none"> 3つの観点をもとに特徴を捉え、誰もが納得できる良い(悪い)点を挙げていくと良い。これが根拠となる。 根拠は一つよりも複数の方が良い。その時はナンバリングを用いると相手にわかりやすい。 	
<p>7 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 振り返りを書く。 <p>次は美術作品の鑑賞文を書くことを予告する。</p>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>生徒の振り返り 査定には明確な根拠が必要だ。ちゃんとた明確がないと相手を納得させることができない。意見を言うときには根拠を挙げるようにしたい。観点を決めておくと評価にかたよりが無い。</p> </div>	

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック (パフォーマンス評価)

尺度(評点・レベル)	記述語
A(理想的)	適切な二つ以上の根拠を挙げている。「なぜなら…、理由は…、根拠は…、」、「ナンバリング」を用いて表現している。

	<p>私たちのグループは、パイナップルの絵手紙を才能ありと査定しました。根拠の一つめは、絵の色彩がきれいで一つ一つのとげが丁寧に描かれていて味わいがあることです。二つめは、「とげも愛」という言葉で、とげ(厳しさ)にも両親の愛情がこめられているという深い思いが感じられる。また、ささると痛い思いがするととげが実は愛だという意外性がおもしろく、体言止めが使われていて印象に残ります。</p>
B (合格)	<p>適切な一つの根拠を挙げている。</p> <p>「なぜなら…，理由は……，根拠は……，」を用いている。</p> <p>私たちのグループは、パイナップルの絵手紙を才能ありと査定しました。なぜなら、絵の色彩がきれいで一つ一つのとげが丁寧に描かれていて味わいがあるからです。</p>
C (乗り越えさせたい実態)	<p>印象や感想に終わっている。</p> <p>「なぜなら…，理由は……，根拠は……，」を用いていない。</p> <p>私たちのグループは、枝豆の絵手紙を才能なしと査定しました。なんとなくさみい感じがしました。</p>

(5) 板書計画

